

学習指導要領		都立東大和高校 学カスタンダード
聞くこと	ア 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が聞いたことを理解できなかった場合に、繰り返しや説明を求めて相手の話に関心をもって聞き続けることができる。</li> <li>・未知の語や聞き取れない語があっても前後関係やつながりを示す語などから内容を推測して聞き続けることができる。</li> <li>・80 語程度の事物に対する紹介や報告などを聞いて、それらに含まれる事実や意見の概要や要点を大まかにとらえて聞き続けることができる。</li> <li>・対話や討論などを聞いて、立場の違いやそれぞれの主張をできるだけ正確に聞き続けることができる。</li> <li>・自然な速さで話された 30 秒程度の対話や討論を聞き、概要や要点をとらえることができる。</li> <li>・場面や状況、相手の表情などを踏まえて、話の主題や話し手の意図を把握し、質問や指示などに適切に応じることができる。</li> <li>・リズムやイントネーションに表れる話し手の意図や気持ちをとらえ、キーワードやトピックセンテンスを意識しながら聞くことができる。</li> <li>・日ごろから読書、インターネット、新聞・ニュースなどの情報を自主的に蓄え、英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「聞くこと」の言語活動に必要な文化背景について理解する。</li> </ul>
読むこと	イ 説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また、聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて英和辞典を正しく使いながら、400～700 語程度の教科書の説明、論評、物語、随筆などを読んで、事実や書き手の考えをできるだけ正確にとらえることができる。</li> <li>・教科書の文章を読んで、文中に未知の語があっても、前後関係や文脈、背景となる知識を用いて推測しながら読み続けることができる。</li> <li>・教科書の文章の単語の発音及び文章のリズムやイントネーションに注意して、適切な速度と音量で、聞き手にできるだけの確に伝わるように音読することができる。</li> <li>・教科書などの 30 語程度の文章をその意味を理解したうえで、英語の音声的な特徴などに注意しながら暗唱することができる。</li> </ul>

学習指導要領		都立東大和高校 学カスタンダード
話すこと	<p>ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら教科書の文章を読んで、議題の中心となる論点や根拠を大まかに理解できる。</li> <li>・概要や要点を把握するために読んだり、詳細を理解するために読んだりすることができる。</li> <li>・教科書の文章について、文と文とのつながりや段落の構成を意識して読み進めることができる。</li> <li>・身近な情報から、やや幅広い情報までが示されている図表を読み取ることができる。</li> <li>・日ごろから読書、インターネット、新聞・ニュースなどの情報を自主的に蓄え、英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「読むこと」の言語活動に必要な文化背景について理解する。</li> <li>・英語学習者向けの英字新聞や雑誌、インターネット上の記事を読んで、関心を持ち、概要を把握することができる。</li> <li>・1年にサイドリーダーを1～2冊読む。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・500～600語程度の教科書の文章の内容を理解したあとに、英語の質問を聞いて、短い文で答えることができる。</li> <li>・教科書で扱った内容について、既習の語句や表現を活用して、ワークシートやメモなどを利用しながら、その概要を英語で相手に伝えることができる。</li> <li>・ペアやグループで、幅広い話題について、学んだことや経験したことに基づき、話し合ったり意見の交換をしたりすることができる。</li> <li>・うまく言えないことがあっても、既習の語句や表現を用いたり、具体例を挙げたりして、情報や考えを相手に伝えることができる。</li> <li>・単語の発音に気をつけながら、場面や状況、相手の反応などを踏まえて、リズムやイントネーションを意識して、十分な声の大きさと話することができる。</li> <li>・日常生活の様々な場面で必要となる語句や表現、文法事項を身に付けている。</li> <li>・つながりを示す語句などを用いながら、理論の展開を意識して話することができる。</li> <li>・新聞記事やニュースなどの情報を使って、話し合ったり意見の交換をしたりすることができる。</li> </ul>

学習指導要領		都立東大和高校 学カスタンダード
書くこと	<p>エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聞き手を意識し、相手に分かりやすい表現を選んで話すことができる。</li> <li>・他の生徒が話した内容について、感想を伝えることができる。</li> <li>・日ごろから読書、インターネット、新聞・ニュースなどの情報を自主的に蓄え、英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「話すこと」の言語活動に必要な文化背景について理解する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既習の語句や表現、文法事項を活用して、学んだことや経験したことに基づき、幅広い話題について 30～60 語程度の文章を書くことができる。</li> <li>・教科書の文章について、ワークシートなどを用いて要約文を書くことができる。</li> <li>・教科書の文章や、聞いたり読んだりした内容について、感想や意見を、その理由とともに 30～60 語程度で書くことができる。</li> <li>・トピック・センテンスやサポーターティング・センテンスの構成を考え、つながりを示す語句を使いながら、文章を書くことができる。</li> <li>・身近な情報からやや幅広い話題について、図表やデータについての説明を書くことができる。</li> <li>・文章を書く前に自分の考えを整理して、箇条書きで書くことができる。</li> <li>・自分で書いた文章を読み直し、すでに持っている知識を駆使しながら、読み手の立場に立って文章を書くことができる。</li> <li>・必要に応じて英和辞書や和英辞書などを活用して書く。</li> <li>・ペアやグループでそれぞれがかいた文章を読み合い、相手を書いた文章についての感想を書くことができる。</li> <li>・日ごろから読書、インターネット、新聞・ニュースなどの情報を自主的に蓄え、英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「書くこと」の言語活動に必要な文化背景について理解する。</li> </ul>